

# ゆあさ 議会だより

平成 29年 11月 発行 No.68

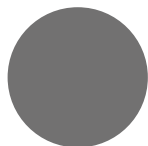
発行：和歌山県湯浅町議会  
編集：議会広報編集常任委員会  
住所：〒643-0002

有田郡湯浅町大字青木 668番地1  
TEL 0737-64-1118  
FAX 0737-62-4450

URL：<http://www.town.yuasa.wakayama.jp/>  
e-mail：[gikai@town.yuasa.lg.jp](mailto:gikai@town.yuasa.lg.jp)



ナイス  
カッ  
ポイント!



JAPAN HERITAGE

**白熱**した  
グランドゴルフ大会  
(町民グランド)

## 9月定例会

全員協議会・各委員会	2~4
一般質問(5人が登壇)	5~9
各議員の賛否表・編集後記	10

# 平成29年度一般会計補正予算 6億1,476万円

ふるさとまちづくり寄附金に伴う業務委託 3億2,726万円

障がい者・障がい児福祉計画策定業務委託 170万円

農作物鳥獣害防止対策事業 100万円

平成29年第3回定例会を9月6日から15日までの日程で開催しました。

本定例会に提案された各会計補正予算、条例改正など、提案された諮問1件、議案9件は原案の通り可決・承認しました。

(単位：万円)

項目	補正額	主な歳出説明	補正後の額
総務費	5億6,716	番号制度対応費用、土地購入費、ふるさと納税業務委託など	17億6,066
民生費	1,626	障がい者・障がい児福祉計画策定業務委託など	20億7,366
衛生費	△741	人事異動に伴う人件費、利用者支援事業(母子保健型)開設準備費、養育医療費など	6億7,272
農林水産業費	344	北谷池改修工事測量設計等負担金など	1億9,079
商工費	△347	人事異動に伴う人件費	6,319
土木費	2,322	人事異動に伴う人件費、町道の修繕料など	4億4,036
消防費	88	防災フェスタ経費など	3億1,055
教育費	242	人事異動に伴う人件費、旧栖原家改修に伴う実施設計業務委託など	5億7,632
災害復旧費	1,226	農業用施設・農地災害測量設計業務委託	1,226
<b>歳出合計</b>	<b>6億1,476</b>		<b>68億2,766</b>

※補正後の歳出合計は補正されていない項目も含めています。

## 全員協議会

### 人事案件

○人権擁護委員候補者推薦につ

き意見を求める件

新しく中尾<sup>なかお</sup>一平<sup>かずひら</sup>氏を適任と答  
申しました。

### 主な条例制定

○消防団員等公務災害補償条例  
の一部改正

非常勤消防団員等に係る損害  
補償の基準を定める補償基礎額  
の加算額が改定されたものです。

○農産物加工大型共同作業場施  
設設置及び管理に関する条例  
廃止

当該施設を災害用備蓄倉庫と  
して活用するためのものです。

### 問 備蓄品の内容は。

答 アルファ米・毛布などです。  
ここだけでなく各避難所に分散  
して置きます。





▲湯浅警察署前の土地

一般会計補正予算

**問** 購入する湯浅警察署前の土地の利用方法は。

**答** 高速道路4車線化工事に伴う土砂を搬入するための用地です。

**要望** 用地整備後は防災関連で使用してほしい。

**問** 人権、障がい者等に対する予算を確保してほしい。

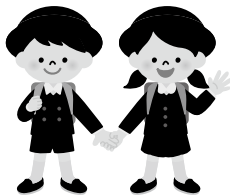
**答** 部落差別解消法の推進に関する法律の管轄が法務省に決まりました。町からは郡町村会を通じて関係事業費の増額の要望を出しています。

**問** 台風5号による浸水箇所の対策は。

**答** 雨水公共下水道事業として、水路等の調査・整備を進めていきます。

**問** 幼稚園が認定子ども園に移行した後の保育料は。

**答** 今までは、幼稚園が決めた全員一律の保育料でしたが、移行後は、保護者の居住する市町村が定める所得等に応じた保育料になります。



特別会計補正予算

**問** 同和对策住宅新築資金については平成33年度で完了できるのか。

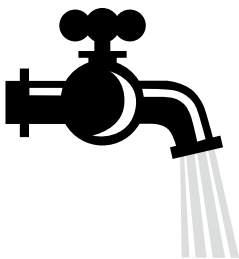
**答** 平成33年度で公債費の償還を完了して、滞納分だけを徴収することとなります。国の責任で解決するよう、今後更なる働きかけをおこなっていきます。

決算認定

○平成28年度水道事業会計

収益的収支については、3180万4千円の赤字となり、前年度繰越利益剰余金885万3千円を補填しても2295万1千円の欠損金（赤字）となっています。その要因としては夏場に雨が少なかったことにより河川からの取水が困難となったことが影響し、有田川町からの受水費が前年度に比べて2889万円増加したことが挙げられます。

資本的収支については、収支差額が8932万9千円不足となり、財源不足分は損益勘定留保資金などで補填しています。



(単位：万円)

項目	補正予算	説明	補正後の予算額
国民健康保険事業	4,142	ヘルスアップ事業委託など	21億 9,605
同和对策住宅新築資金等	0	歳入予算の組替	2億 6,220
介護保険事業	4,391	前年度の交付金等の精算金	14億 354
後期高齢者医療	△139	人事異動に伴う人件費補正	3億 736

※補正後の歳出合計は補正されていない項目も含めています。



人権推進特別委員会

【議題】

○視覚障がい者に対する差別対応事件について（事件の概要と当該職員の処分の報告）

○同和地区の問い合わせ電話について

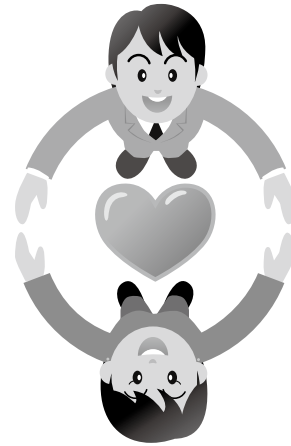
○湯浅町障がい者に関する条例制定に向けての取り組みについて

**意見** 障害者差別解消法ができて、全国民が障がい者に対し垣根をなくすよう指導するのが行政なので、今後このような事件が二度と起こらないようにしてほしい、すぐに接遇研修をして対応した点については良かった。

**要望** 問い合わせ電話については職員が適切に対応するために、マニュアルの見直しや研修を積み重ねてほしい。

**意見** 障がい者に関する条例（仮称）を制定していくにあたり、部落差別解消法も制定されているので、部落差別の課題も一緒に考えていってほしい。

（仮称）を制定していくにあたり、部落差別解消法も制定されているので、部落差別の課題も一緒に考えていってほしい。



まちづくり・防災特別委員会

【議題】

○警察官舎跡地活用に伴う住民説明会について

○湯浅町版総合戦略について

○近畿歴史まちづくりサミット（来年度湯浅町で開催）

○空き家実態調査について

○防災に関する職員研修について



▲物産センター（仮称）イメージ図

**問** 警察官舎跡地に建設する物産センター（仮称）の完成は。

**答** 今年度末で完成し、4月のオープンを予定しています。

**問** 地方創生総合戦略での担い手農家への農地の集積や耕作放棄地の状況は。

**答** 担い手農家への集積は、他の市町村より進んでいると思っています。耕作放棄地は増加傾向にあります。今年度の農業委員会組織の改選で、体制が整ったことにより耕作放棄地解消に力を入れていきます。

**問** 空き家対策の特別措置法が施行され、特定空き家を認定するための基準はあるのか。

**答** 県が策定している基準に沿って実態調査をしていきます。



# 重伝建地区の防災と景観形成の観点から 「無電柱化」の取り組みについて



石橋 千歌子 議員

質問

昨年12月「無電柱化」の推進法が成立しました。電線を地中に埋めて電柱を無くし「防災・安全・景観」の観点から地域の実情に合わせて、様々な方法を模索しながらコスト削減に取り組みをはじめています。

又、無電柱化は災害に強い事も実証されています。町には数多くの電柱と空中に張り巡らされた電線。レトロで昔を懐かしむので良いという方もいらっしゃいますが、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震や台風等の災害時には電柱の倒壊によって、私たちに大きな脅威と被害をもたらすことも事実であります。

町民の生命を守る観点から地元の方や電線管理者や関係機関との整備に係る合意形成を図り「無電柱化」に取り組んで頂きたい。当局の取り組みをお伺いいたします。

答弁(町長)

伝建地区の無電柱化は以前から話があり、現在も担当課を中心にずっと話を進めております。伝建地区の道路は県道も走っている関係で県と共同して検討。先ず地元の方々と話し合いの中で工事の期間の問題等に協力が得られない状況でした。

町としてはやる気満々で今までやってきておりますので、関係者の方々と協議を重ねながら検討を進めていきたい。



▲重伝建地区

再質問

以前の、協議会をされたのは。

答弁(まちづくり企画課長)

地元との協議の時期は平成25年1月に県と町が共同で行った無電柱化の予備設計の概要について協議、報告。

当時、排水管、水道管のインフラ整備も一緒にすると長期の工事期間がかかるのと話がありました。が今回無電柱化の法律ができたことにより、技術的に新たな工法が出てくるのが期待されております。更に、コスト面や工期について改善されていく事を踏まえながら、又、地元の皆さんとも話を進めていきたいと思っております。

要望

安心、安全なまちづくりの為に無電柱化の協議を重ねていく努力をお願い致します。





# ①湯浅町の防災対策について ②湯浅町の観光政策について (障がい者用トイレの整備促進を)

横矢 政明 議員

質問①

8月22～23日に区長連絡協議会が視察を行った防災先進地高知県黒潮町で、

- ① 思想の基本（防災目標）
- ② 職員の地域担当制
- ③ 避難空間・避難道の整備
- ④ 個別津波避難カルテ作り
- ⑤ 地区防災計画
- ⑥ 木造住宅耐震化等の促進
- ⑦ 町備蓄計画
- ⑧ 子どもたちの防災教育
- ⑨ 防災訓練

などの取組みを伺ってきました。実際の災害発生時には訓練以上のことはできないこと、防災教育は継続することがもつとも重要であると思いました。湯浅町の防災対策に活かしていただきたいと考えます。

答弁(町長)

黒潮町のいろんな取組みを聞かせていただきました。町の防災だけでなく、行政の全ての取組みを一緒にやっていく組織を作ってい

くように担当課には指示しているわけですが、できていないのが現状で申し訳ないと思っています。早急に作り上げる必要があると考えています。

答弁(総務課長)

湯浅町の防災対策について、お答えします。

- ① 防災の目標は、「災害に強いまちづくり」です。
- ② 職員の地域担当制については、職員が町民と一緒に考えることが重要と考えます。
- ③ 避難施設の整備は、誘導標識、夜間の誘導灯の設置とともに、町の避難施設に加えて所有者の協力の下、27箇所を津波避難施設として指定しています。
- ④ 戸別津波避難カルテは、現在できていません。
- ⑤ 地区防災計画は、今後検討していきたいと考えます。
- ⑥ 木造住宅の耐震化については、平成28年度までに診断131件、補強設計12件、改修

19件です。

⑦ 備蓄計画は、避難所生活者の1日分に当たる食糧と水の備蓄を進めています。

⑧ 防災教育プログラムは、学校教育に努めているところ

⑨ 防災訓練では、町全体の津波避難訓練を年1回、学校や保育所等自主的に年1回程度の訓練を実施しています。

質問②

観光者が車いすで利用できるトイレは何ヶ所ありますか。

答弁(産業観光課長)

車椅子で利用できる公衆用トイレは5ヶ所あります。

答弁(町長)

歴史的な建物や道路は、できていないものが多いと思います。これからやっていくべきだと考えています。



# 安心安全なまちづくりについて



- ①障がい者差別、部落差別に加えて、ヘイトスピーチの問題も合わせて差別を禁止するための条例制定を
- ②津波避難シェルターの具体的な設置時期は
- ③地震・津波の災害以外の急傾斜地や山・がけ崩れ、危険ため池などの災害対策の取り組みは

石本 一也 議員

## 質問①

湯浅町において、立続けに3件の差別事件が発生しました。まず、障がい者の方に対する差別事件は、町職員による視覚障がいの方に対する差別で、町職員は何度も研修を受けてきたにもかかわらず、徹底されていなかった結果、障がい者の方に不快な思いをさせることになりました。心のこもった温かい対応をしていただきたいと思えます。

次に、部落の所在についての問合せ電話は、今まで行政が啓発を重ねてきたけれども、未だに部落差別が現存する、差別の奥の深さを感じます。

和歌山大学の教授による差別発言については、部落を忌避(きひ)する意識の表れだと思えます。この件は、県とともに解決方法を模索中とのことではありますが、進展があれば随時報告をお願いします。こうした差別に対して、行政は、

罰則も盛り込んで、差別を禁止するための条例の制定を目指してほしいと思えます。

答弁(町長)

職員の障がい者の方への差別的な対応については、深くお詫びを申し上げるとともに二度と起こらないよう気を引き締めて業務に当たり、町民の信頼を回復するよう努めます。

和歌山大学の教授の発言は、私は大きな問題発言だと思っています。

答弁(副町長)

差別を禁止する条例の制定については、人権施策推進委員会で協議していきませんが、罰則規定については、慎重に検討します。

## 質問②

前回の議会でも質問しましたが、南海トラフ巨大地震などの災害が発生したときに役に立つ津波シェルターについて、具体的に

つ頃どこに設置するのか教えてください。

答弁(総務課長)

11月5日の防災フェスタの際に展示を計画しています。早ければ来年度の実施に向け努力します。

## 質問③

危険区域の対策工事の進捗状況はどうなっていますか。

答弁(産業観光課長)

危険ため池の改修は、7ヶ所予定しており、随時改修していきます。

答弁(建設課長)

土砂災害危険箇所は平成28年度から3ヶ年で基礎調査が完了し、土砂災害警戒区域等の指定を進めていくと聞いています。

対策が必要な箇所については県に強く要望します。



# ①ふるさと納税について

## ②山田川の環境対策について



松本 光成 議員

### 質問①

この制度は、自治体間の地域格差や過疎等による税収の減少等によって生じる格差是正を推進するため、2008年4月に導入されてから、早や9年目に入りました。ここ数年で、飛躍的に金額が増え、湯浅町においても昨年は、約9億5,000万円となり、一気に町税と肩を並べるほどの金額となりました。これは、湯浅町には特産物が豊富にあることと、日々職員が努力した成果だと率直に評価します。

そこで、現在の件数と金額はどれ位なのか。また、湯浅町に対して応援してくれた個人情報やバックアップ体制等を含むセキユリティ対策は万全にとられているか。

### 答弁(まちづくり企画課長)

昨年度は和歌山県下で最も多く、今年度も既に6万6千件の寄附があり、金額は約9億3,

500万円です。

セキユリティ対策は、より効率的より安全に一元管理できるシステムを来月から運用予定です。

### 再質問

セキユリティ対策を含む体制づくりはできているか。

### 答弁(副町長)

来年度に大幅な機構改革を考慮しており、万全に取り組んでいきます。

### 質問②

熊野古道及び伝建地域沿いにある山田川は、ごみが不法投棄され一部土砂が堆積し、草木が生い茂り環境が悪化しています。美しいまちづくり条例が施行されているが、今日まで環境対策事業は実施してきたのか。

また、河川の管理者である県に対し、要望してきたのか。

### 答弁(建設課長)

北橋から国道42号付近までの町

道は、除草、草刈りを実施しています。

県は要望に応じて、河川内の河床整正や除草といった維持管理を実施していますが、適切に実施されるよう強く要望すると共に、県と協力して山田川の美化に努めます。

### 再質問

私からの提案ですが、山田川の環境を守っていくため、町・県・関係する機関や団体等で、協議会的なものを作ってはどうか。

### 答弁(住民環境課長)

啓発の一環として、山田川を美しくするための協議会を河川管理者の県にも呼びかけ、つくる方向で協議していきます。



▲山田川下流







# ①特定空家について

## ②ワンストップパーソンについて

### ③水源開発の進捗について

由良 祥治 議員

#### 質問①

略式代執行により、強制撤去が認められる「特定空家」の把握はできているのか。

#### 答弁（総務課長）

今年度において、町内全域を対象に空家実態調査を行うことになっていきます。

平成29年2月に策定された「特定空家等の判断基準」に則って進める必要があるため、今年度の調査実施となっています。

現状においても、特定空家に類するような建物については、所有者や相続権者に対して、除去や改修を促し、周辺住民への危険を解消できるように取り組んでまいります。

#### 質問②

移住推進の取組みとして、ワンストップパーソンを配置しているが、現実に相談等があるのか。空家の利活用を促すための湯浅町独自の空き家バンク制度を設けているが、連携はできているのか。

湯浅では、まちづくり企画課の職員をワンストップパーソンとして配置しています。活動内容は、移住相談に関する電話や窓口での対応、現地案内などで、和歌山県主催の移住相談セミナーや相談会、現地体験会にも積極的に参加し、移住を考えている方々に親身になって相談に乗っています。平成26年度から始まった取組みで、今年8月までの約3年半の間の相談件数は210件、そのうち9世帯14名の方々が湯浅町に移住されています。

#### 質問③

現在、進行中の水源開発の進捗具合はいかがですか。

#### 答弁（水道事務所長）

全体計画では、広川町旭町の第

5水源（井戸）より広川の第2水源地まで原水を送るものであり、完成しますと全体の約4分の1の水を賄えられると考えています。この事業は、今年度と来年度の2カ年での事業予定です。今年度は、第5水源から国道までの間で、延長390mに口径150mmの導水管を新設します。

また、来年度は国道を横断し、国道東側の歩道敷きに延長210mの導水管を新設します。供用開始につきましては、平成31年4月を予定しています。



▲広川第5水源地



# 9 月 定 例 会

審議結果	議案名等	石橋千歌子	小松英夫	松本光成	石本一也	横矢政明	山家敏宏	山田真里	由良祥治	山本年哲	松本典久
適任	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求める件	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	農産物加工大型共同作業場施設設置及び管理に関する条例の廃止	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	平成29年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×		○	○	○	○
可決	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	平成29年度同和对策住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	平成28年度水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○
報告	平成28年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について	○	○	○	○	○		○	○	○	○

(注)山家敏宏議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、×は反対、-は退席

## 議長杯グランドゴルフ大会を開催

優勝 <sup>やまが</sup> 山家 <sup>つとむ</sup> 務 さん  
 第2位 <sup>たけなか</sup> 竹中 <sup>きよみ</sup> 紀代美 さん  
 第3位 <sup>たけい</sup> 竹井 <sup>てるお</sup> 輝夫 さん

9月26日(火)、町民グランドで第17回議長杯グランドゴルフ大会を開催しました。20名の方々がホールインワンを達成、議会から8名の議員が参加しました。



## 議会の傍聴にお越しく下さい

次回 定例会の予定  
**12月6日**～  
 一般質問  
**12月14日**



## 編集後記

町なかを歩いてみると、町外から訪れてくる多くの方々を目にします。

つい最近のことですが、その方達に対する町民の人の応対にほのぼのとしたものを感しました。

「おたがいさま」と「おかげさま」の心で支え合う地域づくりの大切さを改めて感じさせられました。

小松 英夫

## 議会広報

### 編集常任委員会

委員長 山田真里  
 副委員長 小松英夫  
 委員 石橋千歌子  
 委員 石本一也  
 委員 山本年哲

